

大洲支部

1 研修会実施の経過

大洲支部では、平成 21 年度まで、主に MS-Office を中心とした実技研修講座を実施してきた。平成 21 年末に、大洲市内の全小中学校へプロジェクト型 70 インチ電子黒板 1 台および、50 インチデジタルテレビが全学級に導入されたことを受けて、平成 22 年度より、これらの機器の活用方法に関する研修会を実施してきている。

県教育センターでの、PowerPoint を使用した教材作成に関する研修会への参加や、ICT 活用推進リーダー事業などにより、PowerPoint を使用した Flash 型教材の作成への関心が高まってきている。本年度は、新しい方法の一つとして、市内の全小中学校に導入されているソフトウェア、ライズ e ライブラリアドバンス（ライズ株式会社）を使用した教材作成について研修会を行った。

また他に、平成 22 年度より、市内の小中学校のホームページが全て ESnet 上の CMS を利用したものに移行したことから、同年はホームページの運営に関する研修会も実施した。

2 研修会当日の日程

- (1) 期 日 平成 23 年 7 月 27 日(水) 13:15～16:00
- (2) 会 場 大洲市立南中学校パソコン室
- (3) 参加者 大洲市内の小中学校に勤務する教職員 38 名
- (4) 講 師 坂谷泰幸（ライズ株式会社広島支店）

3 研修の内容・様子

- (1) e ライブラリの活用方法について
- (2) ステープラを利用した教材作成
- (3) 質疑応答



研修会の様子

4 研修後の感想と課題

研修の参加者からは、「基本操作や教材開発の方法が理解でき、今後活用したいと思った。」「校内の研修では学べないことが学べてよかった。」という声が多く聞かれ、充実した時間となった。これからも PowerPoint を活用した Flash 型教材に加え、新しい手法を身につけるための研修を実施し、授業の中での ICT 活用を更に推進するとともに、地域に開かれた学校として CMS を利用したホームページ作成の研修を更に進め、学校からの積極的な情報発信を行なうための基盤づくりを行いたい。今後もハードウェア環境の整備に伴い、より一層のソフトウェアの整備や活用技術の向上が望まれる。今後更に活用機会を増やすと同時に、活用方法を工夫し、積極的に情報交換を行いながら、情報機器の効果的な活用に努めたい。